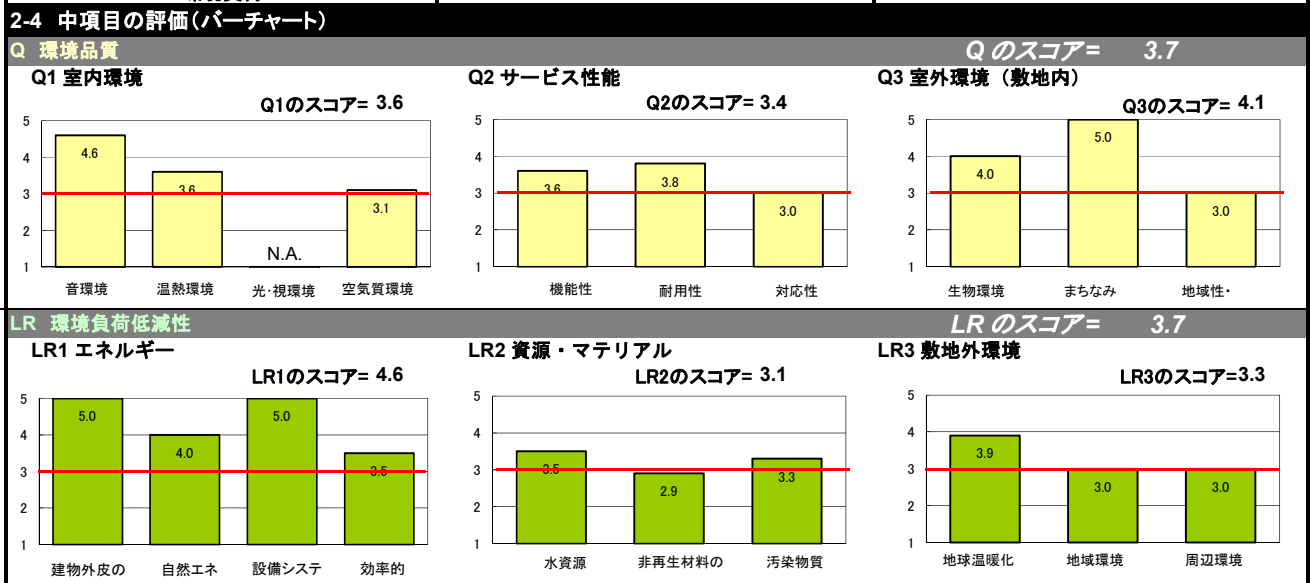
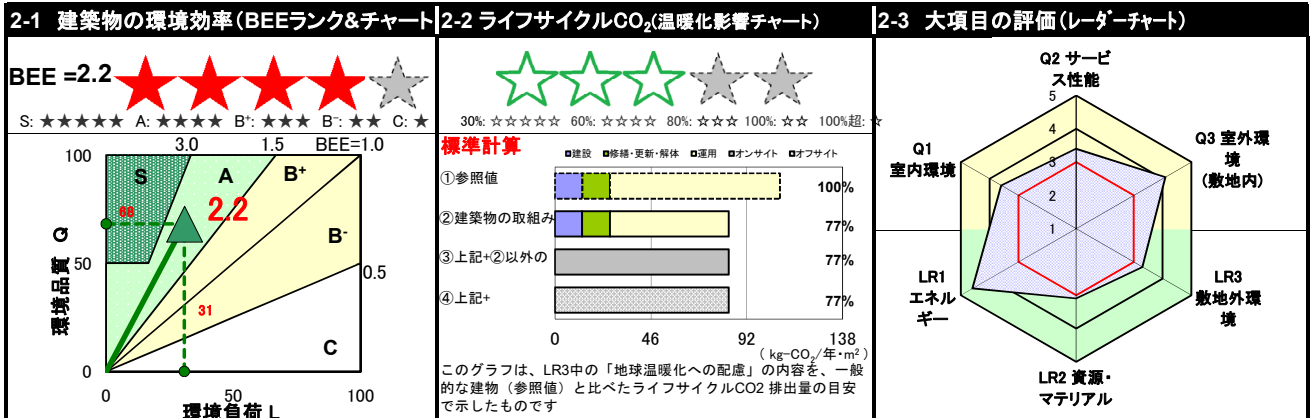


CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市拠点文化施設	階数		
建設地	福岡県福岡市中央区天神5丁目8番	構造		
用途地域	商業地域、準防火地域、一部防火地域	平均居住人員		
地域区分	7地域	年間使用時間		
建物用途	集会所	評価の段階		
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日		
敷地面積	29,601 m ²	作成者	俊設計吉田	
建築面積	7,774 m ²	確認日	2022年2月2日	
延床面積	20,351 m ²	確認者	俊設計吉田	



3 設計上の配慮事項		その他
総合 本施設は福岡市の拠点文化施設です。ホールとしての高揚感や市民を迎え入れる顔づくりに配慮したデザイン、利用しやすさと管理しやすさを追求した機能的なゾーニング、ウォーターフロント地区との豊かな自然と一体となった外構計画、塩害や風害等に配慮した構造・設備計画など、様々な工夫により、建物内外に豊かな環境を創出し、市民の多様な芸術活動を支え、まちと人をいきいきと元気にする文化施設を実現します。		天神地区からウォーターフロント地区への人の流動を重視し、その流れを豊かに敷地に取り込み、広場へと伸ばす計画である。PFI事業の強みを生かし、建築と運営・管理が一体となった計画で福岡の文化拠点を実現する。
Q1 室内環境 ・ホールからの外部への音漏れに配慮した遮音性の高い建具等を採用。 ・ホールの舞台面と観客席とを個別にゾーンで制御する空調システムを採用。	Q2 サービス性能 ・運営業者・管理業者が設計段階から計画に携わり、利用者へのサービスや維持管理性能の向上を図る。 ・バース等を使用し、効果的なデザインについてビジュアルに検討する。	Q3 室外環境(敷地内) ・須崎公園と一体となった豊かな緑地を整備する。街並みと調和する良好な景観形成を図る。 ・親水空間や、遊具等を整備し、地域のアメニティの向上を図る。
LR1 エネルギー ・ビルの消費エネルギー等を把握し、定期的な設備性能検証を行い管理方針を見直すなど、運用管理体制の充実を図る。 ・ハイブリット外灯などエネルギーの間接利用を図る。	LR2 資源・マテリアル ・躯体材料や内装仕上げ材等にリサイクル材を使用する。 ・鋼製2重床やOAフロアなど、躯体と仕上りが分別可能な材料や、再利用可能な材料を使用する。 ・ODPの低い塗料を採用している。	LR3 敷地外環境 ・ごみの発生量を把握し、分別回収を行うなど、計画的なごみの搬出を行う。 ・大きな堆積スペースを確保し、ごみ等を一時保管する。 ・敷地に対して建物をコンパクトに計画し、周囲への日

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される